

国保

重すぎる負担を軽く

都民の4人に1人が加入している区市町村国保。加入者の多くは、年金生活者、中小零細業者、低賃金の非正規雇用者です。1人あたりの年間所得は123万円にすぎません。共産党都議団は、国保料(税)の引き下げのため、都が支援するよう求めています。

差押え推進やめさせた

高すぎる国保によって、加入世帯の約2割が滞納せざるをえない状況です。ところが都は、国保料(税)滞納者への新規差押えの件数が多い区市町村ほど交付金を増額して、生活が厳しくて払えない人を追い詰めるような制度をつくってきました。

共産党都議団は、廃止するよう求めてきましたが、差押えに応じて交付額をふやす制度を2018年度から廃止したことが明らかになりました。重要な成果です。



もっと
使いやすい

シルバーパスに

- 1 3千円のパスなど、中間段階をつくります。
- 2 多摩モノレールやゆりかもめでも使えるようにします。
- 3 都県境を越えるバスでも使えるようにします。

所得が一定額を超えると、千円パスからいきなり2万510円パスになってしまうシルバーパス。共産党都議団は、もっと気軽に使えるようにするために、千円パスの次に、3千円パスをつくらせたり、多摩モノレールや東京から神奈川、埼玉、千葉など都県境を越えるバスにも使えるように、と提案しています。



予算の使い方を変える

開発よりも、くらしに

日本共産党都議団は、知事が提出した予算案に対して、使い方を変えれば福祉や教育がこれだけ充実できると提案しています。

たとえば、上の国保料の引き下げやシルバーパスの負担軽減に必要な予算は、あわせて135億円。一方、大型客船の来る見込みも示せない港の整備に83億円をはじめ、不要不急の開発にメスをいければ2000億円以上の財源を生み出せます。

黒い粉じんを示し、小池都知事にせまる和泉なおみ都議



豊洲市場

高濃度の重金属

黒い粉じん

豊洲市場では、開場直後からほこりや粉じんが発生し、市場で働く人から、のどの痛みや体調不良をうたえる声があいついでいます。

共産党都議団が、東京農工大学の渡邊泉教授に粉じんの成分分析を依頼したところ、アンチモンやカドミウムなど有害な重金属類が、一般の道路粉じんにくらべ、はるかに高濃度で検出されました。都議会で都としての調査と対策を求めました。



代表質問に答弁する小池都知事

働く人の健康守れ

都は、ターレ(※市場での荷物運搬車)のタイヤ改善など新たな対策の必要性は認めつつ、「衛生環境は良好」との言葉をくり返し、粉じん調査分析は拒否しました。

豊洲市場で働く人の健康を守る立場に立とうとせず、調査分析すらしない小池知事の姿勢は、汚染の残る豊洲市場を「安全」だといって移転強行したことに共通するものであり、都民の批判を免れません。

「築地を守る」「市場機能を残す」を投げ捨てる

知事の「公約違反」を追及

一昨年の都議選直前に、「築地を守る」「市場機能を残す」と約束した小池都知事。ところが、先月末に発表した「築地まちづくり方針」では、築地に卸売市場はつくりないと、公約を真向からふみにじる方針を決めました。

多くの市場関係者から「裏切られた」との声があがっています。共産党都議団は、知事が公約を守り、方針を撤回し、一から再検討するよう強く求めています。



他党派と共同し

議会正常化に尽力

第1回定例都議会でくり返されたのが、都民ファーストと公明党による数の力に任せた強引な議会運営です。2党派が理由も言わずに議会運営委員会理事会への出席を拒んで長時間空転させるなどの事態が発生しました。

共産党都議団は、他の5党派と共同して申し入れを行うなど、都議会の長い歴史の中で築かれた民主的な運営ルールに立ち返ることをねばり強く要望。そのなかで、築地市場問題をめぐる小池知事との1問1答の質疑をおこなう機会をつくることもできました。



含まれていた重金属	国内の道路粉じんと比べ	考えられる人体への影響
アンチモン	8.1倍	長期間摂取した場合 肺炎、気管支炎などの恐れも
カドミウム	4.8倍	体内に蓄積すると 腎臓障害の恐れも